

重点分野2 (中目標)	格差是正												
開発課題2-1 (小目標) 雇用機会の拡充・ 人材育成	【現状と課題】 2008年の世界経済危機によりマイナス成長となっていたジャマイカ経済は、世界経済の回復に伴い、2011年は僅かながらの成長を記録した後のもの、2012年には再び成長が鈍化していたが、政府が進める構造改革の成果や原油価格低下の影響で再び持ち直しつつある。しかしながら、失業率(13.2%、2016年ジャマイカ企画庁)は依然として高い水準にあり、雇用機会の拡充は政府の施策において引き続き重要な位置を占める。一方で、ジャマイカ政府は多額の債務を抱え(対GDP比115%、2017年財務・公共サービス省)、財政支出抑制が強く求められており、独自の財源によるインフラ等の公共事業の実施において困難を抱えている。また、厳しい財政事情から、社会的弱者を中心とする国民の能力強化及び生産性向上の基礎となる教育の環境が十分に整っておらず、人材育成の面でも課題を抱えている。					【開発課題への対応方針】 過去の支援(世界銀行の日本社会開発基金による雇用機会の拡充、中小企業支援のための専門家派遣、生産性向上や社会的弱者支援のためのボランティア派遣等)の成果を踏まえつつ、研修やボランティア派遣等を通じた中小企業振興支援、障害者の社会参加促進を通じた社会的弱者への雇用機会の拡充、無償資金協力等を活用した教育・医療環境整備等の支援を実施する。							
		協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	中小企業・生産性 強化プログラム	中小企業の競争力強化のネックになっている生産性の向上に資する制度・人材育成及び中小企業を支援する公的機関の能力向上のための取組を支援し、経済活性化と雇用拡大を後押しする。	中小企業支援・人材育成分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								0.37	
			生産性向上及び中小企業の能力開発分野支援のボランティア派遣	SV									
			中小企業支援・人材育成分野の課題別研修	課題別研修他									
	その他 個別の案件		社会的弱者支援・教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								0.71	
			障害者の社会参加促進支援のボランティア派遣	JOCV/SV									
			教育分野のボランティア派遣	JOCV/SV									
	その他ボランティア派遣(スポーツ分野、青少年、コミュニティ支援分野)		JOCV/SV										
	社会的弱者支援分野の課題別研修		課題別研修他										
	障害者の社会・経済的包摂プロジェクト		マルチ								2.99百万ドル	世銀開発政策・人材育成基金(PHRD)	
	ジャマイカ研究所展示・視聴覚機材整備計画	一般文化								0.58			

【凡例】「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別専門家)、「個別機材」(=個別機材)、「個別研修」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国専門家)、「第三国研修」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=現地国内研修)、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、「実線」(=実施期間)、「破線」(=実施予定期間)